

第6学年 給食の時間 学習指導案

1. 題材 長生きと食事

2. 指導にあたって

6年生の児童は栄養バランスの良い食事をするのが健康につながることを理解している。しかし、栄養バランスの良い食生活を続けることが、長生きにつながる事まで考えて食事をしているかは疑問である。

本題材では75歳まで長生きした徳川家康と、13代将軍家定、14代将軍家茂の食事の復元食を比較させて、長生きと食事の関係について考えさせたい。とくに、20歳の若さでなくなった家茂のむし歯の原因についても考えさせたい。3人の徳川将軍の食事を比較することにより長生きするためには、栄養バランスのとれた食事をとることが大切である事に気付かせたい。また、栄養バランスのとれた給食を残さずに進んで食べる態度を育成したい。

3. 食育の視点

長生きするためには、栄養バランスの良い食事をとる事が大切であることがわかる。(心身の健康)

4. 指導計画 (全10分)

第1次 長生きと食事 (本時10分)

5. 本時のねらい

○毎日食べている食事で寿命が変わることを徳川将軍の食事から理解することができる。(知識及び技能)

6. 本時の活動

学習活動と内容	指導上の留意点 評価(◆)	資料
1. 2つの食事の写真が初代将軍、徳川家康と14代将軍家茂のどちらの将軍の食事かを考える。	○2つの食事の写真を提示し1つは徳川家康、1つは13代将軍徳川家定の食事であったことを知らせ、どちらの将軍の食事かを考えるようにする。 ○家康は75歳まで長生きしたが、家定と同じような食事を食べていた14代将軍徳川家茂は20歳の若さでなくなったことを知らせる。	徳川家康と徳川家茂の写真 徳川家康、家定の2つの食事の写真
2. 3人の徳川将軍の食事内容の違いについて考える。 家康は栄養バランスが良い。 家定・家茂は栄養バランスが悪い。 家茂は和菓子を沢山食べていた。	○徳川家定・家茂の食事の写真から、家定・家茂の食事は赤色の食品が多く、野菜の量が少ないこと。 また、家茂は砂糖が多い和菓子も多く食べていたことから、むし歯の原因につながった事を知らせる。 ○徳川家康の食事の料理から赤、黄、緑の食品がバランスよく入っていることに気付くようにする。 ○長生きするためには、栄養バランスのとれた食事が大切であることに気付くようにする。	徳川家康、徳川家定、家茂の食事の食品カードと赤、黄、緑の札。 家茂の食べた和菓子の写真
3. これからの食事の食べ方について考える。	◆毎日食べている食事で寿命が変わることを徳川将軍の食事から理解している。(知識・技能)	
4. まとめと振り返りをする。	○栄養バランスの良い給食を残さずに食べるように付け加える。	

7. 板書計画

長生きと食事(徳川将軍の食事)



初代 徳川家康
75才で死去



13代 徳川家定
35才で死去



14代 徳川家茂
「かつげ」のため
20才で死去

さいともとごぼうのにももの



はまぐりのしおむし
うりのつけもの
なっとう
むぎごはん
かぶのみそしる
たいのやきもの



たい なっとう
はまぐり みそ
むぎごはん さといも
かぶ ごぼう うり



かまぼこ しろみさかなのすいもの
かぶとうりのつけもの
かれのいのにももの
ごはん
とうふのみそしる



かれい 白身魚
かまぼこ とうふ みそ
ごはん
かぶ うり

指導資料 (印刷はパワーポイント資料より可能)



さいともとごぼうのにももの



はまぐりのしおむし
うりのつけもの
なっとう
むぎごはん
かぶのみそしる
たいのやきもの

徳川家康

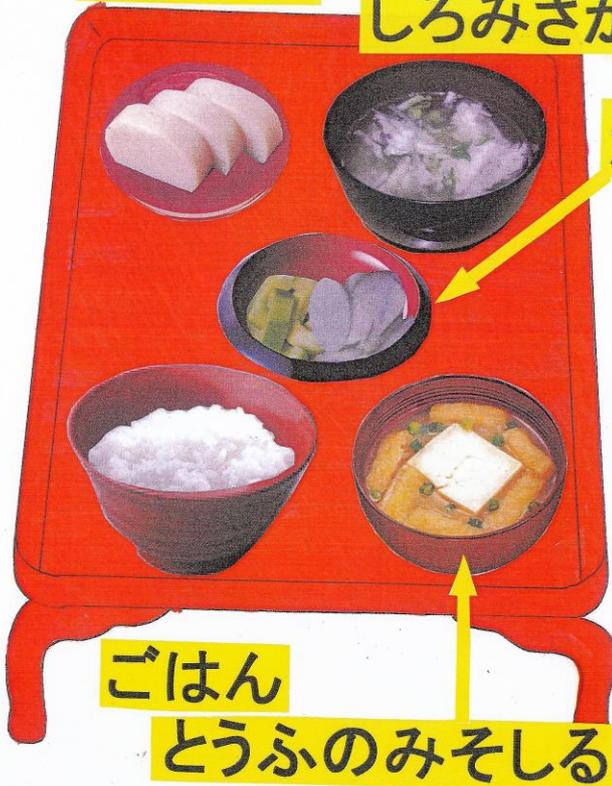


徳川家康

かまぼこ

しろみさかなのすいもの

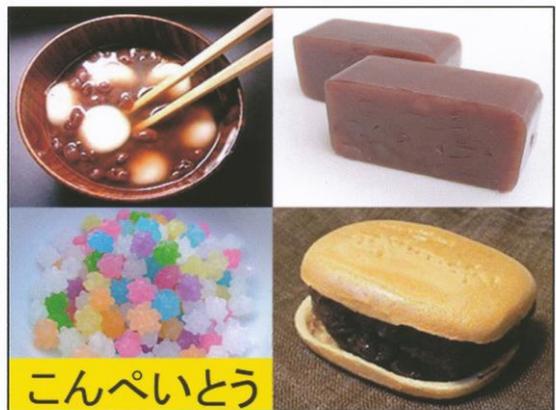
かぶとうりのつけもの



徳川家定・家茂



徳川家定・家茂



徳川家茂